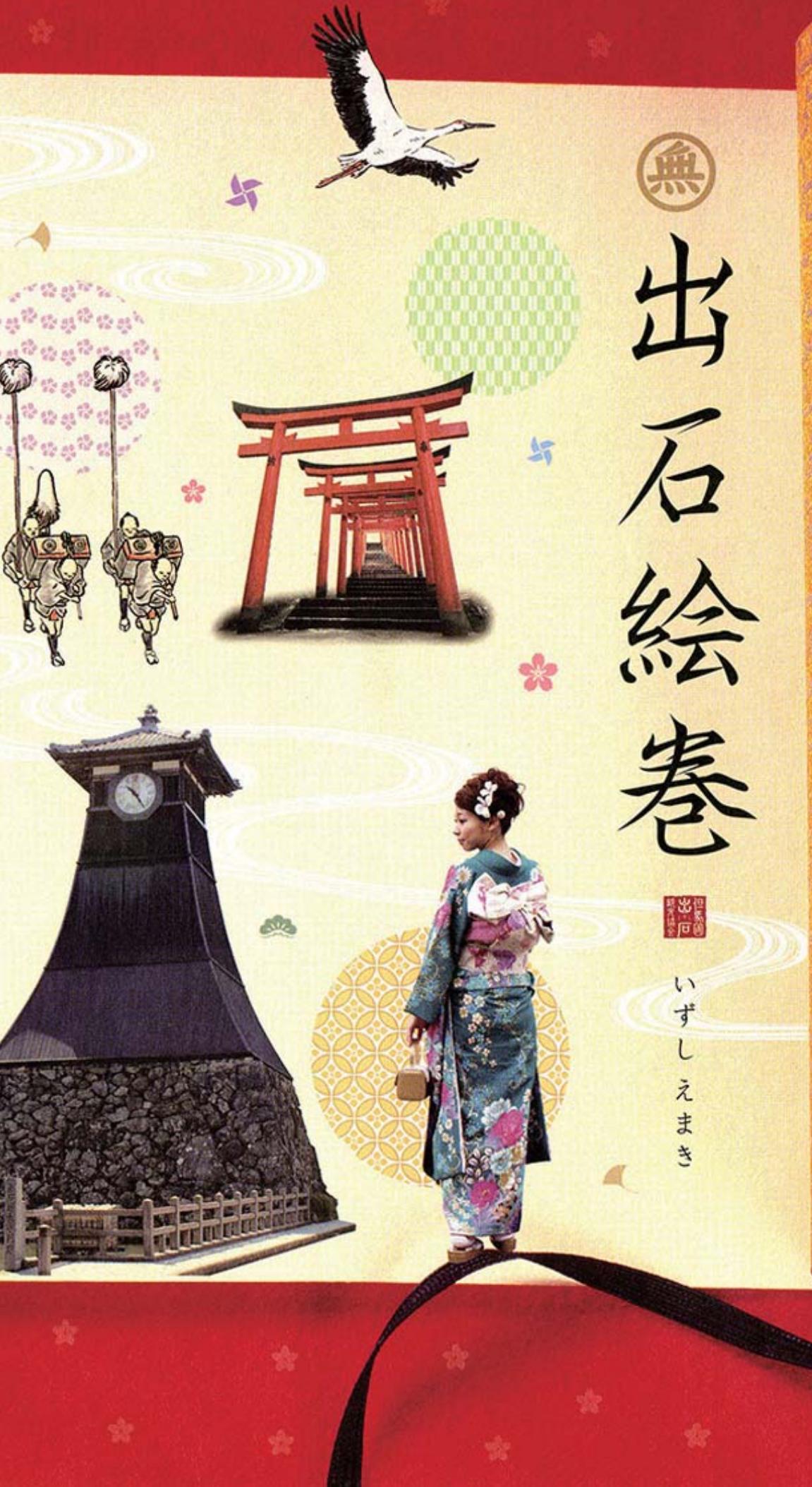


出石観光ガイドブック

出石絵巻



いずしえまき



もくじ

◆ 出石の城	3 ~ 4
◆ 城下町の観光	5 ~ 6
◆ 風土・文化	7 ~ 8
◆ 社寺	9 ~ 10
◆ 特産品	11 ~ 12
◆ 体験メニュー	13 ~ 14
◆ 歴史・祭り	15 ~ 16
◆ 散策まつぶ	17 ~ 18



辰鼓楼 (しぶらう)

明治四年に建設された時刻を知らせる
太鼓楼で後に時計台となつた。
日本最古の時計台。



太古の昔より 様々な伝説が 伝わる城下町

出石は但馬の小京都として、その風情ある町並みを今に残しますが、その起こりはさらに古く、但馬開発の祖神「天日槍(あめのひばこ)」が泥水の底にあつた但馬地方を瀬戸の岩山を切り開いて干拓に成功した「但馬の国生み伝説」が伝えられています。また、「古事記」「日本書紀」にも登場するなど古来より人々が往来し、様々な伝説を残す神秘的な地域でもあります。街のあちこちに今も残る歴史の足跡をその目でじっくりとお楽しみください。



出石

時代とともに移り変わる
出石に築かれた城

- 此隅山城跡
- 有子山城跡
- 出石城跡



全宗義
そりせん
やまと
山名城主で、応仁
の乱を引き連れ京の都
へと攻めたもの。

此隅山城跡

MAP 25

此隅山城は応永五年(一三七二)頃に山名宗全が築城したと伝えられています。応仁の乱が始まると、此隅山城には山名の各領国から計二万六千騎の軍勢が集まり、山名持豊は当城から京都へ出陣しました。山頂の主郭は見晴らしが良く、出石神社や有子山を見渡すことができます。

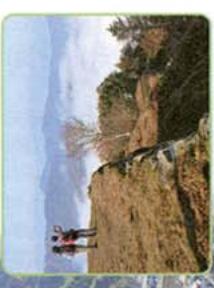


主郭(本丸)からの眺望。

有子山城跡

MAP 3

有子山山頂に構える有子山城は、かつて城域が東西約七四〇m、南北約七八〇mもある大城郭でした。山名氏の本拠であった此隅城が羽柴秀吉に攻められ落城したため、山名持豊は泉州堺に逃れるも、のちに帰国し天正二年(一五七四)、有子山城を築城します。標高三二二mの山頂城跡からの見晴らしは最高で、時期によっては城下町を包む雲海も見られます。

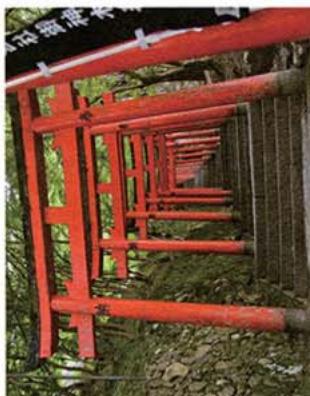


有子山城跡からの眺望。

出石城跡

MAP 1

出石城は慶長九年(一六〇四)、小出吉英により有子山の麓に築かれました。最上段に櫓曲輪、その下に本丸、次いで二の丸、東側に山里丸、西側に西の曲輪、平地部分に三の丸が配置されました。また城下は、流路を蛇行させた谷山川と北流する出石川から成る外堀により町全体を囲い込み、いわゆる「惣構」を形成しており、この頃、現在の出石の町並みの基盤ができあがりました。明治元年に出石城の建物は全て取り壊されましたが、現在では隅櫓や登城橋、登城門が建築されています。



明治期に整備された櫛荷曲輪道。



北側より、出石城の城郭を望む。



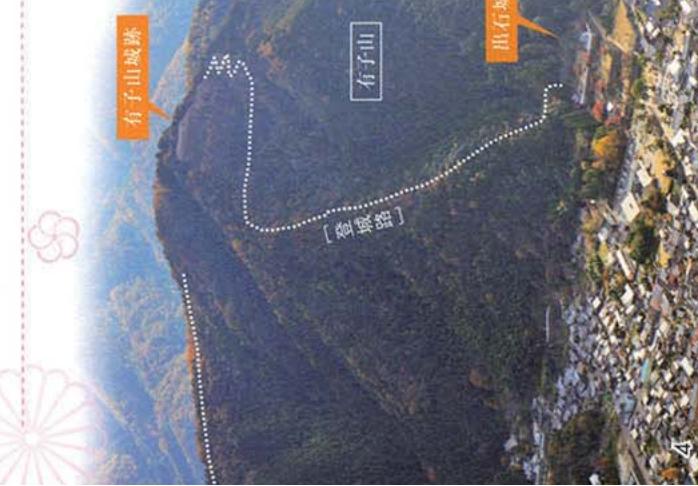
平成期に新しく建立された登城橋と登城門。



城内奥壁の為に建てられた桶荷神社。最も上段にある桶荷神社。



今も残る城の内堀の一部で、幅約13m、深さ約9m。



辰鼓缕

MAP 14



辰鼓楼は、明治四年（一八七二）田三の丸大手門脇の櫓台に、時刻を知らせる木鼓を叩く櫓として建設されました。明治十四年に医師、池口忠惣氏が大時計を寄贈してからは、日本最古の大時計台として親しまれています。

出石永樂館

88

出石水滸館は明治二十四年に開館した近畿最古の芝居小屋です。平成二十年に四十四年の時を経て蘇りました。歌舞伎など、興行の無い日は一般公開しており、週り舞台や落語など舞台裏も見学できます。

② 9時30分～17時（最終入館16時30分）

■ 大人300円、学生200円
■ 小・中学生無料
■ 木曜日、12月31日



出石酉告酉藏

三

深い味わいを見せる赤い土醸造りの酒蔵。現在もすつきりとした味わいの地酒「深々利」を製造しています。隣の販売所では試飲もできるので、お酒の好きな観光客に人気のスポット。



いまも残る
数々の
歴史の足跡を
訪ねる。

出石家老屋敷

Σελ 2

出石城内にあつた江戸後期の上級武士の居宅。刀を使い離くするためか天井は低く造られており、襲撃に備えて造られたものと推定されます。館内は仙石騒動の資料をはじめ無形文化財の大名行列諸道具など出石藩に関する資料が展示されています。

②9時30分～17時(最終入館16時30分)
大人200円・高・大学生100円・小・中学生無料
休日11月3日・12月31日・1月1日、展示替期間中



出石史料館

2

明治時代に生糸を商つた豪商富家の本邸で、昭和五十二年より史料館として出石藩ゆかりの史料を中心に展示しています。館内には仙石騒動や藩政の記録をはじめとする出石藩関係の史料、古地図、武具、茶臼山古墳からの出土品等を展示し、江戸時代を中心に古代から近代までの出石の歴史を紹介しています。また当館は、豊岡市指定文化財にも指定されています。

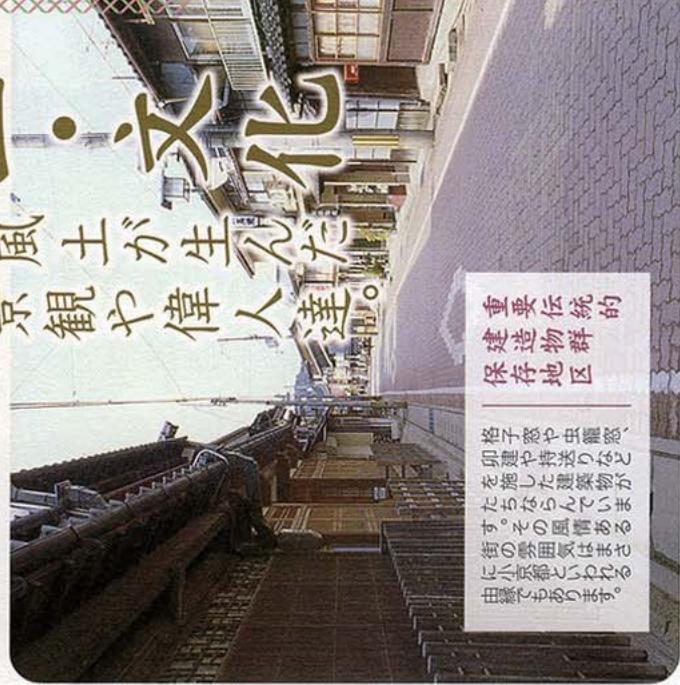
回 9時30分～17時(最終入館16時30分)
■ 大人30円・高・大学生18円・小・中学生無料
■ 休日・年末年始・展示替期間中



仙石秀久の甲冑

出石歴史文化 交流館

MAP 16

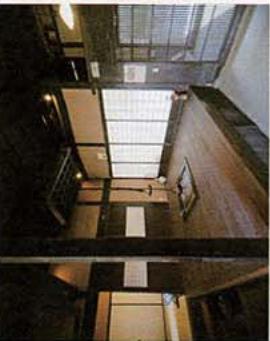


重要伝統的 建造物群 保存地区

卯子窓や虫籠窓、卯建子窓など
を施した建物がたくさんあります。
その風情ある街の雰囲気はまるさ
に小京都といわれる由緒もあります。

下級武士（足軽）の住居、武家
長屋を利用した資料館です。当
時、下級武士の住居は城下町
を問うように配置されており、茅
葺き屋根の建物内には、武士の生
活がわかる貴重な資料が見学
できます。

○ 11時～15時



出石明治館

MAP 8

郡役所として明治十一年に建造された
木造振洋風建築。日本の天気予報の創
始者である桜井勉をはじめ、出石の偉
人展示を常設しています。

○ 9時30分～17時（最終入館16時30分）

※大人40円・小中学生無料
休月曜日・年末年始・展示替期間中



桜井勉 □八四三一九三二
明治新政府の行政官で、日本
の天気予報の創始者と
称されています。



豊岡市立美術館

MAP 4

出石出身の洋画家、伊藤清永の代表作「磯
人」「夫人像」「裸婦像」等を常設展として
展示。絵画や愛用の画材も展示しています。

○ 9時30分～17時（最終入館16時30分）

※大人40円・高校大学生20円・小中学生無料
休月曜日・年末年始・展示替期間中



伊藤清永 □九三一九〇二
出石出身の洋画家で裸婦像の
名手として知られる。日展など
日々会を中心に活躍した。



加藤弘之生家

MAP 6

帝國大学（現・東京大学）初代総理を務め、
現在の大学制度の礎を築いた加藤弘之の生
家です。改修されていますが、敷地と建物は
当時のままで、年表や関係文書などが展示
されています。市の指定文化財です。

○ 10時～15時（無料）

休日曜・祝日のみ開館で、年末年始は休館



加藤弘之 □八三六一九七〇
ドイツ文学の先駆者で、日本の
大学制度導入の基礎づくりに
貢献した。



斎藤隆夫記念館

MAP 21

斎藤隆夫記念館「静思堂」は、斎藤隆夫の威
徳を偲ぶため建てられました。

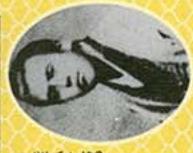
斎藤隆夫 □八七〇一九四九
戦闘軍演説を行い、軍国主義に
言及しなかつた「憲政の神様」と
呼ばれた政治家。



幕末の立役者

MAP 13

禁門の変に敗れ朝敵となった桂小五郎。新
撰組に追われる身となつた彼は、出石の町
人広戸甚助直蔵兄弟の助けを経て出石町
内各所にくまわれていきました。



白糸の滝

MAP 28

白い糸を流したような細く美
しい姿を見せる白糸の滝は、二
段になって流れ落ちる落差三千
メートルの滝です。マイナスイオ
ンに心療されるこの滝は、「ひよ
うご森林浴五十選」に選ばれて
います。



奥山渓谷

MAP 22

六月頃になるとゲンジボタルが
飛び交い、渓谷付近で「ほなる
祭り」も行われます。また夏に
は森林浴、秋には紅葉狩りと床
尾山に続く登山道をゆっくりと
登るトレイキングも人気です。

出石温泉館 乙女の湯

MAP 20

乙女の湯は、なめらかな
肌ざわりと保湿の高さ
が自慢の美人の湯で
リウム・炭酸水素塩神
經痛・筋肉痛・肩こりなど
で日頃の疲れが癒され
ます。

○ 10時～22時（最終入館
21時30分）※大人40円・中
学生以上・小学生以下）
休月曜日・水曜日



挽きたて、打ちたて、茹がきたて。
伝統の「三たて」が美味しいのヒ・ツ。

出石はそのルーツは、宝永三年(二七〇六)に出石藩主松平氏と信州上田藩主仙石氏がお国替えになつた時に始まります。その隣、仙石氏と併し信州から来た者は職人の技法が在来のそばは打ちの技術に加えられ、出石そばが誕生しました。その後、出石焼が始まり白地の小皿に盛る様式が確立されました。



国内でも珍しい、
白磁を中心とした
美しい焼き物。

透き通るような白を特徴とする白磁。出石焼は、桂谷陶石と呼ばれる純白の原料を使って焼かれ、その神秘的なまでの白さは他に例を見ないほど。経済産業大臣指定伝統工芸品に指定されています。



地酒 [宋夕鶴]

出石散策コースの中にある出石酒造の酒蔵で作られる地酒「樂々鶴」。ふくよかな香りとコク、すっきりとした味わいが特徴のお酒。酒蔵の隣に駄菓子のある販売所があり試飲もできるので観光客が買い求めることが多いそうです。



出石ちりめん

織細で格調ある織柄、そしてなめらかで気品あふれる綿の風合いを活かした出石ちりめんは、日本の伝統美と呼ぶにふさわしい織物です。



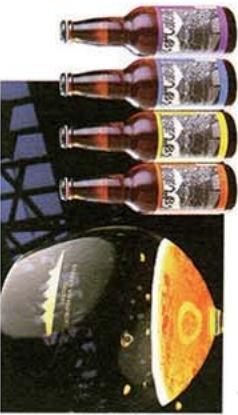
杞柳製口

神話の時代、天日槍によりヨリヤナギを植つた柳細工の技術が伝えられたと伝承されています。柳行季や飯行季が有名で、現在では杞柳バッケグが伝統工芸品として人気を集めています。



七

出石のおいしい水に、
厳選された上質な麥芽、生まれたままの酵母がたっぷり入った、
豊かなかんたん発泡酒です。隠し味にじっくりのコ
センスを生かした「い
すし浪漫」は出石城
山ガーデンなどで飲んで、くだけます。





出石の街をたっぷり体験

選べるのは
170種類以上!

出石きものレンタル

手ぶらで行って気軽に着物をレンタル。百七十種類以上の豊富な着物と帯で多彩なコアティートが楽しめて、いつもとは違った雰囲気で出石の町を散策できます。

- ◎レンタル時間／3時間
- 3千円／
- ◎レンタル場所／お着替え処無
- ◎要予約(土・日・祝は当日レンタル可能)



歴史ある出石の街を、
風情ある着物を着て
ゆっくり散策。
普段とはひと味違う
旅の思い出を作りませんか。

そば打ち体験

挽きたて、打ちたて、茹がきたて、伝統の「三たて」で人気の出石皿そばは三百年の伝統を持つ出石のそばを自分で打ち体験。職人が丁寧に指導し、一人前相当な打ち頂き、お召し上がり頂けます。自分で打ちた出石皿そばは、他とは違う格別の味がします。

◎金額／所要時間等は、体験場所により異なります。但馬國出石観光協会までお問い合わせ下さい。



出石焼絵付け体験

出石を代表する伝統工芸品「出石焼」。その白く透き通るような美しい白磁に絵付けをし、自分だけのオリジナル出石焼を作成できます。焼き上がりした完成品は、後日発送。自分で使つてもよし、親しい方へのプレゼントにも喜ばれること間違いなし。

◎金額／所要時間等は、体験場所により異なります。但馬國出石観光協会までお問い合わせ下さい。

かばん製作体験

約80枚の革の中から素材を選び、世界で一つだけのオリジナルバッグが作れる体験。裁断、縫製、仕上げと全ての工程が体験でき、完成品はすぐに使用できます。鞄だけでなく、ブックカバーや名刺ケースなど、短時間で作れるアイテムもあるので観光客に人気。

- ◎所要時間／約30分～2時間
- 30円～1万円
- ◎場所／かばん工房 選翠
- ◎TEL／0796-522-5055



座禅体験【宗鏡寺】

沢庵和尚で有名な宗鏡寺で初めての方でも気軽に座禅体験ができます。日頃の慌ただしい生活を忘れて、静かな大切なことです。座禅は「調身・調息・調心」。姿勢と呼吸を正し、身と心とを融合統一してゆきます。座禅の服装はゆつたりしたズボンがおすすめ。また当寺では座禅の他に、精進料理やお茶を味わうコースもあります。

- ◎所要時間／約1時間(座禅は約25分)
- 3千円(洋服料込)、要予約
- ◎場所／宗鏡寺(禅室)
- ◎TEL／0796-522-2333



祭りよみ

いにしへより伝わる祭りから伝統と風土を活かした行事までひときわ街が沸き上がる祭事の数々。

出石の起り

出石町は、「古事記」「日本書紀」にも名前のある歴史の古い町です。新羅の王子天日槍が、垂仁天皇三年に渡来してこの地を拓いたと伝えられ、町名も、天日槍の宝物である「出石小刀」に起因したといわれています。また、古くは但馬の国衙(こくが)が置かれていたとも伝えられ、「人形(ひとがた)」「育串(ゆくし)」といった祓いの道具が大量に出土しています。

出石を治めた藩主達

室町時代になると、「太平記」にも登場する山名時氏が但馬地方を制圧し、その子時義は、宮内の此隣山に本拠を構えました。山名一族は、日本全国六十六カ国中十一カ国を治めましたが、明徳の乱により一族の内紛を起こし、その後わずか三ヶ月の守護となってしまった。時義の孫宗全はその勢力を盛り返し、応仁の乱では西軍の大将となりました。しかし、戦国時代に入つて、山名氏はその勢力を失い、山名祐豊の時に織田軍の羽柴秀吉に攻められ、此隣山城は落城しました。祐豊は城を有子山に移し守りを固めましたが、天正八年(三五八〇)に秀吉の弟秀長により有子山城は落城、山名氏も滅ぼされました。秀長は城を木下昌利に守らせ、その後城主は青木基兵衛、前野長康と変わったのち、播磨龍野から小出吉政が領主として封せられ五万三千石を領し、その子吉英の時に山城を廢し、山麓に出石城を築き城下町づくりを行いました。小出氏は九代、約二〇〇年間続きましたが後継ぎがなく断絶し、元禄十年(二六七)に武蔵国岩槻より松平忠徳が移封されました。宝永三年(二七〇六)に松平氏は、信州上田の仙石政明と国替えとなりました。仙石氏は七代にわざて出石藩を治めましたが、天保六年(二八三五)の仙石騒動により、三万石に減封され明治に至っています。出石の伝統工芸である出石焼は、この江戸時代中期に始められ、また特産の出石皿そばは、仙石氏が信州からそば職人を連れてきたのがはじまりとされています。

仙石騒動

江戸時代天保年間(二八三〇~一八四〇)に但馬出石藩仙石家に起つた御家騒動。藩主仙石政美の死後支派の家老仙石左京が主家の乗取りを計画し、反対者を次々に追放しました。幕府は天保六年(二八三五)十一月仙石久利の封を削り、左京を獄門に廻しました。

出石歴史年表

時代	西暦	元号	出来事
平安	四〇〇		出石の出来事
鎌倉	八〇〇		天日槍が渡来する
後醍醐天皇	一二三二	後醍醐	古墳が発見される
後醍醐天皇	一二三七	後醍醐	榜掲御界で人形を用いた祭事が行われる
後醍醐天皇	一二三九	後醍醐	太田昌明・但馬守義賢となる
後醍醐天皇	一二五〇	後醍醐	此隣山城築城
後醍醐天皇	一二五二	後醍醐	山名時義・但馬の守護となる
後醍醐天皇	一二五三	後醍醐	山名宗全の任に就きます
後醍醐天皇	一二五七	後醍醐	鐵門長官(豊臣秀吉)にまつて但馬守俊兵・此隣山城落城
後醍醐天皇	一二五八	後醍醐	有子山城築城
後醍醐天皇	一二五九	後醍醐	但馬守義賢・山名氏誠亡
後醍醐天皇	一二六〇	後醍醐	小出吉政・有子山城から山陽に出石城を移築
後醍醐天皇	一二六一	後醍醐	要所に寺院を配設・住民の町並みを形成
後醍醐天皇	一二六二	後醍醐	出石城主の助のめに木村良美・宗鏡寺を再興
後醍醐天皇	一二六三	後醍醐	松平忠徳が城主となる
後醍醐天皇	一二六四	後醍醐	信州上田城主仙石氏と出石城松平氏・国替え
後醍醐天皇	一二六五	後醍醐	出石大火
後醍醐天皇	一二六六	後醍醐	出石大火のはじまり・板屋土窯を焼く
後醍醐天皇	一二六七	後醍醐	仙石城騒動起らる(石室三万石に減封)
後醍醐天皇	一二六八	後醍醐	出石城取り壇し・櫻澤郷領
後醍醐天皇	一二六九	後醍醐	出石から出石城さだむ豊岡城となる
後醍醐天皇	一二七〇	後醍醐	出石大火により町火事を消滅
後醍醐天皇	一二七一	後醍醐	櫻坂井越内務省の町頭馬長となる
後醍醐天皇	一二七二	後醍醐	測候所をつくり天気予報の開始につなぐ
後醍醐天皇	一二七三	後醍醐	辰巳坂井にテラモツ製時計設置
後醍醐天皇	一二七四	後醍醐	加賀義弘・切原景定・大曾根時景
後醍醐天皇	一二七五	後醍醐	出石焼が日本の伝統的工芸品に指定される
後醍醐天皇	一二七六	後醍醐	町出石城を城門復元
後醍醐天皇	一二七七	後醍醐	町合祭・豊岡市出石町となる

出石初午大祭

江戸時代、出石藩主が旧暦二月の最初の午の日に、城内の稻荷神社に参拝を許したことが始まりとされています。商売繁盛・五穀豊穣を願う大祭。

初午大祭

3月月中旬

四月の初旬より一ヶ月間、出石城跡などで開催されるお祭り。名物そば喰い大会などのイベントが開催され関西円から参加者があります。

そば喰い大会

3月下旬

出石桜まつり

天日槍の但馬開発にまつわる祭りで、出石神社の社前で竹ぼらの音に合わせて様々な絵柄のぼりを立てます。

天日槍の但馬開発にまつわる祭り

5月5日

幟まわし

天日槍の但馬開発にまつわる祭りで、出石神社の社前で竹ぼらの音に合わせて様々な絵柄のぼりを立てます。

幟まわし

6月下旬

ほたる祭り

奥山渓谷に伝統するゲンジボタルの鑑賞会や、公民館にてはたるに関するイベントや展示などが開催されます。

奥山渓谷に伝統するゲンジボタルの鑑賞会や、公民館にてはたるに関するイベントや展示などが開催されます。

8月下旬

愛宕の火祭り

伊福部神社境内無病息災を祈念して、荒縄で束ねた妻わらに火をつけて振り回す查察です。闇の中を躊躇する炎は幻想的。

愛宕の火祭り

10月中旬

出石秋まつり

豊作を祝つて行われるだんじりは「喧嘩だんじり」とも呼ばれています。各町から繰り出されただんじりの大棒を激しくぶつけ、つぶし合いをする「練り合い」が行われ最大の見せ場となります。

出石秋まつり

10月下旬

出石藩きもの祭り

出石皿そばのおかもち競争、屋台村、レンタル着物、着物姿大抽選会など、着物にちなんだイベントが行われます。

出石藩きもの祭り

11月3日

出石お城まつり

一番の見どころは大名行列で、三十数名の奴による櫻振りが町をねり歩きます。江戸時代の参勤交代の模様を今に伝える伝統行事。

出石お城まつり

11月中旬

出石皿そば新そばまつり

その年の秋に収穫されたばかりの新そばを打たた「出石皿そば」がかるます。新そばは、そばの風味がとても良く、一年でそばが一番美味しい時期です。

煙に咲くそばの花

近隣観光スポット



コウノトリ文化館(豊岡市)



城崎温泉(豊岡市)



植村直己冒険館(豊岡市)



竹野浜海水浴場(豊岡市)



竹田城跡(朝来市)



天橋立(宮津市)

但馬の小京都出石

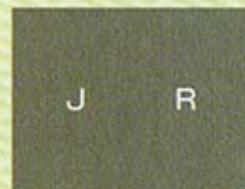


ACCESS

お車・観光バス

- ◎大阪・神戸・京都から【約3時間】
- ◎姫路から【約2時間】
- ◎京都から特急で【約2時間30分】
JR山陰本線にて「豊岡駅」「江原駅」「八鹿駅」下車。
全但バス、出石行きで約30分。
- ◎大阪から特急で【約2時間30分】
JR福知山線にて「豊岡駅」「江原駅」「八鹿駅」下車。
全但バス、出石行きで約30分。
- ◎大阪空港からコウノトリ但馬空港まで【約35分】
空港から全但バスで豊岡駅まで【約15分】
出石行きバス乗り換え【約30分】

飛行機



NPO法人 但馬國出石観光協会

〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町104-7
TEL.0796-52-4806 <http://www.izushi.co.jp>

株式会社 出石まちづくり公社

〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町104-7
TEL.0796-52-6045 <http://www.izushi-tmo.com>



携帯サイト
アクセス

